

単  
元  
名

# 1000 より大きい数をしらべよう

教科書出版社名 ( 東京書籍 )

○ 小学校 ( 2 ) 年 教科等 ( 算数 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・数の意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力。
- ・単元の学習の活用を通して、身の回りの数を数理的にとらえ、論理的に考察し、問題解決する力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・学校図書館内で見つけた数字を「数量を表すための数」「物事を分類整理するための数」に分類し、説明する力。
- ・問題を解決するために、今まで触れたことのない図書や新聞に親しむ。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…学校図書館内にある数字を見つけ、写真を撮って集める。
- 整理・分析…集めた数字の写真を「もの大きさを表す／表さない」という観点で分類する。
- まとめ・表現・発信…分類したものをモニターに映し、紹介しあう。

○ 学習の展開 (全 11 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆)

第1次 (9 時間)	<b>○1000 より大きい数をしらべよう</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・10000 未満の数の構成や表し方について理解する。</li><li>・数直線を使って数の大小や順序を理解する。</li><li>・10000 の構成や表し方について理解する。</li></ul>
第2次 (2 時間)	<b>○まとめ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・身の回りで数が使われている場面を探し、数にはもの大きさを表しているものと、表していないものがあることを知る。(☆)</li><li>・学習内容の定着を図り、数学的な見方・考え方を振り返る。</li></ul>

(本時 10/11 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい  
 学校図書館の中で数を探し、見つけた数をものの大きさを表しているものと、表していないものに分類する。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
3  17	<p><b>1. これまでの学習を思い出す。</b> 1000 より大きい数の読み方や表し方を確認する。</p> <p><b>2. 学校図書館の中で数を探し、タブレットで写真を撮って集める。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1000～10000 までの数の読み方などを確認する。</li> <li>・授業支援ソフトを活用して撮った写真を集めるよう伝える。</li> </ul>
	<p>としかんの中では どんな数字がつかわれているか しらべてみよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の値段</li> <li>・新聞社の電話番号</li> <li>・バーコード</li> <li>・新聞社の住所</li> <li>・ISBN</li> <li>・新聞の内容より</li> <li>・巻数、ページ数</li> <li>・カレンダー</li> <li>・図書の内容より</li> <li>・分類番号</li> <li>など</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは4桁の数にこだわらずに探させる。</li> <li>・取りかかりやすいように、数が見つかりそうな図書や新聞を事前に紹介しておく。</li> </ul>
10  15	<p><b>3. 集めた数の写真を、もの大きさを表しているもの、表していないものに分類する。</b></p> <p>①もの大きさを表している数(数量を表す)        (例) 値段、巻数、ページ数、人口、重さ、体長など</p> <p>②もの大きさを表していない数(物事の分類を表す)        (例) バーコード、ISBN、電話番号、住所など</p> <p><b>4. 分類したものを紹介し合う。</b>        グループや全体で見せ合い、自分の分類と比べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業支援ソフトのシンキングツール(表)を使い、写真を分類していくようにする。</li> <li>・自分と同じ、違うという観点で比べるように伝える。</li> </ul>

図書館活用ポイント

